

一般質問

■安全安心な街づくりについて

浜岡川の機能不全の抜本的解決を！

質

①浜岡川周辺の冠水被害は長らく改善されず、近年の異常気象も相まって予想を超えた被害となった。浜岡川の機能不全について、専門家を入れ抜本的に解決することを地元は要請している。前向きな回答をお願いします。

②コロナ禍における避難所の管理運営に不安を感じる。感染拡大防止に配慮した新たな防災訓練と市の避難所開設運営マニュアルの実地訓練を強く要請する。

答

①今回の豪雨では、浜岡川への排水ポンプ車投入の効果が確認された。現在所有のポンプ車の活用を考えているが、今後、必要な排水能力などの検証及び対策を専門家の意見も含め検討していく。また、国・県に相談し、総合的な治水対策を考えたい。

②令和2年度に七尾市新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設・運営マニュアルを作成し、防災講座において避難所の開設・運営について周知している。大規模災害時の避難所運営は、地域の皆様の積極的な関わりが必要であり、市も地域とともに防災訓練や避難所運営訓練に取り組んでいく。各地域において、訓練実施の要請があれば、まずは防災交通課へ相談してほしい。



瀬戸 三代 議員 (あすなろ)



豪雨時の浜岡川の様子

一般質問

■動物愛護への取り組みについて

猫の不妊去勢処置に助成金制度を！



西川 英伸 議員 (新政会)



質

ペットの人口が高まっている。一方で、経済的困窮でペットを手放したり、安易に飼い始めて飼育が困難になる事例も見られる。飼い主のいなくなった猫は、責任のない餌やりのため繁殖し、トラブルが市内全域で起こっている。1匹の猫が不妊去勢手術をしないと、1年で80匹近くまで増えてしまうこともある。

この問題に市内で猫の多頭飼育をされている方々が立ち上がり、県内の猫のNPO団体と連携しながら、猫の手術、捕獲、里親探しに奔走している。市としても現状を認識して、野良猫の餌やトイレ、それを管理し、避妊去勢して、地域猫として見守りながら頭数を減らす努力を行う時ではないかと考える。そこで、猫の避妊・去勢処置について助成金制度をつくる考えはあるか伺う。

答

助成制度については、動物愛護ボランティアと意見交換を行い、また、県主催の会議で、能登の市町の現状把握を行った。

野良猫対策として、飼い猫の不妊去勢手術は必要であると考えており、野良猫によるふん尿トラブルの訴えがある一方で、動物愛護の観点から安易に殺処分を望まない市民意見もあることは認識している。不妊去勢を含めて、どのような支援ができるのか慎重に考えている。

一般質問

■市指定ごみ袋について

■子育て支援について

検討状況を問う！

質

①ごみ袋について、形状が使いにくい、口を開じにくいとの市民の声を聞く。ほかの市町では以前からより使いやすい形状となっているところが見受けられる。七尾市においても早急な形状の変更を望む。また、有料広告の掲載や形状についての検討についての進捗状況を伺う。

②以前、親子で運動や遊ぶことができる屋内施設の充実について提案したところ、市からは、「既存施設について内容の充実などを検討する」との答弁があったが、現在その検討状況はどうか伺う。

答

①ごみ袋の有料広告については有効であると考えており、有料広告の掲載については導入に向け制度設計を行うため、他団体の事例収集を行った。形状については、令和4年5月31日に開催した七尾市環境審議会においても検討することを報告し意見を伺っている。ごみ袋の形状については持ち手、マチつきを導入する自治体も増えていることから、市民の要望を確認し判断していきたい。

②児童・保護者のニーズを把握するために、10月頃に普段の遊び場や休日の過ごし方などのアンケート調査を実施する予定で、その結果に基づいて、どのような施設が必要かなども関係課とも連携しながら検討していく。



和田内 和美 議員 (無党派)



七尾市指定ごみ袋